

学ぼう!SDGs

～みんなで考える世界の目標～

第3回 目標1「貧困をなくそう」

1 貧困を
なくそう

目標1「貧困をなくそう」

～あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ～

SDGsが定義付けている貧困は、世界銀行で決定された国際貧困ラインである1日1.9ドル未満、つまり日本円では1日207円未満で生活している人を指しています。貧困は、苦しい生活を強いられるだけでなく、失業、災害、紛争など様々な問題の原因にもなってしまいます。

わたしたちができる身近な取り組み

■寄付による個人の取り組みを実施しよう!

私たちにとって最も身近な寄付には、募金があります。国内はもちろん、海外にも支援することができるのが大きな特徴です。寄付先によっては、目標2「飢餓をゼロに」目標3「すべての人に健康と福祉を」など、他の目標にも貢献することができます。

■フェアトレード認証の商品を手に入れよう!

「フェアトレード」とは、途上国から仕入れる「モノ」を適正価格で継続的に取引し、生産者である人々に正当な対価を届け、彼らの生活を守ることに繋がるもので、コーヒー豆やカカオ豆が代表的な存在です。コーヒーやチョコレートを購入する際、「フェアトレード認証」のマークがついている商品を購入することで、遠い途上国の生産者や労働者たちの生活を間接的に守ることになり、貧困の解消への一助となります。

■周囲の子どもの貧困に向き合おう!

日本でも子どもの貧困が大きな問題となっています。家庭環境をはじめとしたさまざまな要因により、貧困の影響が子どもに大きく降りかかってしまうのです。昨今では、「子ども食堂」や「寺子屋」などの動きも盛んになってきています。

JAようてい職員が考えるSDGs関連事業

JAようていの「貧困をなくそう」

- ・各種募金支援活動への参加
- ・雇用労働力の確保（無料職業紹介所など）
- ・組合員の所得向上に向けた出向く営農推進体制
- ・人生設計に合わせた保障提供（年金共済・こども共済など）
- ・生産資材の取りまとめによる安価供給

今後取り組むべき「貧困をなくそう」

- ・農産物の安定供給の継続
- ・地域のライフラインとして給油所や金融経済店舗の維持
- ・こども食堂への食材提供
- ・食育活動への更なる活動